

計 算 総 括 表

名 称	実 施 ・ 元 設 計		変 更 設 計	
管渠土工				
床掘	数量計算書 P 5 障害無し	164. 7	160 m ³	
床掘	数量計算書 P 5 障害有り	232. 0	230 m ³	
埋戻	数量計算書 P 5	215. 2	220 m ³	
土砂等運搬	現場⇄プラント 往復分 上記より $215. 2 / 0. 9 \times 2 = 478. 2$	480 m ³		
埋戻し材料	改良土 上記より $215. 2 / 0. 9 \times 1. 2 = 286. 9$	290 m ³		
土砂等運搬	現場→処分場 上記より $(164. 7 + 232. 0) - 239. 1 = 157. 6$	160 m ³		
処分費	上記より	157. 6	160 m ³	
管布設工				
基面整正	数量計算書 P 7, 8 $29. 20 + 12. 00 = 41. 2$	41 m ²		
ボックスカルバート設置	数量計算書 P 7 212路線	13. 9	14 m	
PCボックスカルバート	数量計算書 P 7 (B) 1600mm×(H) 1500mm×(L) 2000mm	2 本		
PCボックスカルバート	(B) 1600mm×(H) 1500mm×(L) 1000mm 短尺加工	1 本		
PCボックスカルバート	(B) 1600mm×(H) 1500mm×(L) 1310mm 短尺加工	1 本		
PCボックスカルバート	(B) 1600mm×(H) 1500mm×(L) 600mm 短尺加工	1 本		
PCボックスカルバート	(B) 1600mm×(H) 1500mm×(L) 2000mm 横穴加工 HP600	1 本		
PCボックスカルバート	(B) 1600mm×(H) 1500mm×(L) 1263mm 斜切加工	1 本		
PCボックスカルバート	(B) 1600mm×(H) 1500mm×(L) 1162mm 斜切加工	1 本		
PCボックスカルバート	(B) 1600mm×(H) 1500mm×(L) 1166mm 斜切加工	1 本		
PCボックスカルバート	(B) 1600mm×(H) 1500mm×(L) 1634mm 斜切・横穴加工 HP400	1 本		
ボックスカルバート設置	数量計算書 P 8 205路線	6. 0	6 m	
PCボックスカルバート	数量計算書 P 8 (B) 1500mm×(H) 1400mm×(L) 2000mm	1 本		
PCボックスカルバート	(B) 1500mm×(H) 1400mm×(L) 1064mm 短尺加工	1 本		
PCボックスカルバート	(B) 1500mm×(H) 1400mm×(L) 1466mm 斜切加工	1 本		
PCボックスカルバート	(B) 1500mm×(H) 1400mm×(L) 1672mm 斜切・横穴加工 HP400	1 本		
TB工法用継手資材	数量計算書 P 7 (B) 1600mm×(H) 1500mm ボックス継手	10 箇所		
TB工法用継手資材	数量計算書 P 9 (B) 1600mm×(H) 1500mm 箱型マンホール接続部	1 箇所		
TB工法用継手資材	数量計算書 P 8 (B) 1500mm×(H) 1400mm ボックス継手	3 箇所		
TB工法用継手資材	数量計算書 P 9 (B) 1500mm×(H) 1400mm 箱型マンホール接続部	1 箇所		
基礎碎石	数量計算書 P 7, 8 $29. 20 + 12. 00 = 41. 2$	41 m ²		
型枠	数量計算書 P 7, 8 $4. 20 + 1. 80 = 6. 0$	6 m ²		

計 算 総 括 表

名 称	実 施 ・ 元 設 計		変 更 設 計	
コンクリート基礎	数量計算書 P 7, 8 4.40 + 1.80 = 6.2	6 m ³		
特殊マンホール工				
基面整正	数量計算書 P 9 8.1	8 m ²		
基礎砕石	数量計算書 P 9 8.1	8 m ²		
型枠	数量計算書 P 9 1.7	2 m ²		
コンクリート基礎	数量計算書 P 9 1.2	1 m ³		
箱型マンホール設置	(M212-1) 数量計算書 P 9 基礎ブロック(B) 2200B	1 箇所		
組立式箱型マンホール	□2200×2200 基礎ブロック(B) 数量計算書 P 9 H=1500mm 足掛金物含む	1 箇所		
箱型マンホール設置	数量計算書 P 9 基礎ブロック(MB12) 2200B	1 箇所		
組立式箱型マンホール	□2200×2200 基礎ブロック(MB) 数量計算書 P 9 H=1200mm 足掛金物含む	1 箇所		
箱型マンホール設置	(M212-1) 数量計算書 P 9 頂板(S-900穴) 2200B	1 箇所		
組立式箱型マンホール	□2200×2200 頂板(S) 数量計算書 P 9 H=300mm 足掛金物含む	1 箇所		
組立式箱型マンホール 開口費	数量計算書 P 9 ボックスカバー (B) 1600mm×(H) 1500mm	1 箇所		
組立式箱型マンホール 開口費	数量計算書 P 9 ボックスカバー (B) 1500mm×(H) 1400mm	1 箇所		
組立式マンホール設置工	数量計算書 P 9	1 箇所		
鉄筋コンクリート 組立1号マンホール	数量計算書 P 9 斜壁 600×900×600	1 個		
調整リング	数量計算書 P 9 φ 600 H=150	1 個		
受枠変形防止金具 φ 600用	高流動性無収縮超早強モルタル含む 数量計算書 P 9 調整高20mm～100mm	1 箇所		
耐スリップ 型人孔鉄蓋	数量計算書 P 9 雨水 φ 600 (次世代型) T-25	1 組		
仮設鋼矢板				
鋼矢板圧入	数量計算書 P 10	117 枚		
切梁・腹起し 設置・撤去	数量計算書 P 11 10.12	10.1 t		
山留材質料	数量計算書 P 11 8.03	8.0 t		
鋼矢板賃料	数量計算書 P 10 L=8.0m	36 枚		
鋼矢板引抜き	数量計算書 P 10 L=8.0m	55 枚		
ガス切断	数量計算書 P 10 鋼矢板	50 箇所		
油圧式杭圧入引抜機 据付・解体	図面番号8	5 回		
油圧式杭圧入引抜機 据付・解体	図面番号8	3 回		
鋼矢板 (一部撤去)	数量計算書 P 10 4.5	5 t		
現場発生品運搬及び 支給品運搬	数量計算書 P 10 4.50	4.50 t		
現場発生品運搬及び 支給品積込・荷卸	数量計算書 P 10 4.50	4.50 t		

計 算 総 括 表

名 称	実 施 ・ 元 設 計		変 更 設 計	
矢板・鋼管 スラップ 控除	数量計算書 P 10	4.5	5 t	
鋼矢板	数量計算書 P 10 (一部埋設) 12.70 + 13.5 = 26.2	26 t		
充填工法 併用引抜き (鋼矢板)				
充填管等設置工	数量計算書 P 10 YT-3C 充填管L=7.3m	6 本		
引抜同時充填工	数量計算書 P 10 L=8.0m 切断なし	55 枚		
充填材	数量計算書 P 10 排水ガラス系無機懸濁型	12,265 L		
充填設備 (車載型) 据付・解体費		1 回		
特許技術料	数量計算書 P 10 11.55 × 1000 = 11550	11,550 L		
横矢板				
硬質地盤先行掘削	リーダレスオーガによる地盤解し 図面番号10 GL-6.50m	6 箇所		
機械組立解体費	リーダレスオーガによる地盤解し GL-6.50m	1 式		
H形鋼圧入	数量計算書 P 12 常用 継施工なし Nmax≤7 圧入長9m以下	6 本		
H形鋼杭賃料	数量計算書 P 12	4 本		
H形鋼引抜	数量計算書 P 12 常用 切断なし 引抜長10m以下 圧入長9m以下	4 本		
ガス切断	数量計算書 P 12 H形鋼	2 箇所		
H形鋼	数量計算書 P 12 (一部撤去) 0.2	0.2 t		
現場発生品運搬及び 支給品運搬	数量計算書 P 12 0.233	0.23 t		
現場発生品運搬及び 支給品積込・荷卸	数量計算書 P 12 0.233	0.23 t		
矢板・鋼管 スラップ 控除	数量計算書 P 12 0.23	0.2 t		
H形鋼	数量計算書 P 12 (一部埋設) 1.3	1 t		
H鋼チャック取付・取外	図面番号8, 数量計算書 P 12 常用 切断なし 引抜長10m以下 圧入長9m以下	6 回		
横矢板設置・撤去	数量計算書 P 13 矢板欠損部① 2.5	3 m ²		
横矢板設置・撤去	数量計算書 P 13 矢板欠損部② 12.9	13 m ²		
横矢板設置・撤去	数量計算書 P 13 矢板欠損部③ 9.1	9 m ²		
現場発生品運搬及び 支給品運搬	数量計算書 P 13 1.480	1.48 t		
現場発生品運搬及び 支給品積込・荷卸	数量計算書 P 13 1.480	1.48 t		
処分費	数量計算書 P 13 廃木材 1.5	2 t		
充填工法 併用引抜き (H形鋼)				
充填管等設置工	数量計算書 P 12 YT-3B 充填管L=7.3m	4 本		
引抜同時充填工	数量計算書 P 12 L=8.0m 切断なし	4 本		
充填材	数量計算書 P 12 排水ガラス系無機懸濁型	1,400 L		

計 算 総 括 表

名 称	実 施 ・ 元 設 計		変 更 設 計	
特許技術料	数量計算書 P 12	1,321 L		
覆工板				
覆工板・覆工板受桁 設置・撤去	数量計算書 P 14 開削部 62.0	62 m ²		
覆工板・覆工板受桁 設置・撤去	数量計算書 P 14 既設到立坑部 28.0	28 m ²		
覆工板賃料	数量計算書 P 14 覆工板 62.0 + 28.0 = 90.0	90 m ²		
覆工板賃料	数量計算書 P 14 受桁 62.0 + 28.0 = 90.0	90 m ²		
薬液注入				
二重管スレー工法	数量計算書 P 15, 16, 17 鋼矢板欠損部①	6 本		
二重管スレー工法	数量計算書 P 15, 18, 19 鋼矢板欠損部②	7 本		
二重管スレー工法	数量計算書 P 15, 20, 21 鋼矢板欠損部③	5 本		
注入設備据付・解体工 (車上)		1 現場		
開削水替工				
据付・撤去工	汚水開削+雨水開削	2 現場		
ポンプ運転	数量計算書 P 37, 38 汚水開削 2.0	2 日		
ポンプ運転	数量計算書 P 37, 38 雨水開削 33.0	33 日		
ポンプ設置・撤去	ポンプ3台×1箇所 図面番号18 既設雨水管	1 箇所		
給排水ホース	図面番号18	105 m		
ポンプ運転	数量計算書 P 37, 38 既設雨水管 33.0	33 日		
取付管設置工				
床掘	数量計算書 P 22, 23, 24 7.8 + 16.8 + 2.7 = 27.3	30 m ³		
埋戻	数量計算書 P 22, 23, 24 5.7 + 12.0 + 1.9 = 19.6	20 m ³		
土砂等運搬	現場⇄プラント 往復分 上記より 19.6 / 0.9 × 2 = 43.6	40 m ³		
埋戻し材	改良土 上記より 19.6 / 0.9 × 1.2 = 26.1	30 m ³		
土砂等運搬	現場→プラント 上記より 27.3 - 21.8 = 5.5	6 m ³		
処分費	上記より 5.5	6 m ³		
取付管①	数量計算書 P 22 φ 400 3.3	3 m		
取付管②	数量計算書 P 23 φ 600 4.7	5 m		
取付管③	数量計算書 P 24 φ 400 1.7	2 m		
基礎碎石	数量計算書 P 22, 23, 24 2.52 + 4.78 + 1.24 = 8.5	9 m ²		
型枠	数量計算書 P 22, 23, 24 1.70 + 3.00 + 0.84 = 5.5	6 m ²		
コンクリート基礎	数量計算書 P 22, 23, 24 0.45 + 0.93 + 0.22 = 1.6	2 m ³		

計 算 総 括 表

名 称	実 施 ・ 元 設 計			変 更 設 計	
軽量鋼矢板土留 建込工	数量計算書P24 H=2.0m	③ 1.0	1 m		
軽量鋼矢板土留 建込工	数量計算書P22,23 H=2.5m	① ② 2.7 + 4.2 = 6.9	7 m		
軽量鋼矢板土留 引抜工	数量計算書P24 H=2.0m	③ 1.0	1 m		
軽量鋼矢板土留 引抜工	数量計算書P22,23 H=2.5m	① ② 2.7 + 4.2 = 6.9	7 m		
土留支保工	数量計算書P24 1段 設置	③ 1.0	1 m		
土留支保工	数量計算書P22,23 2段 設置	① ② 2.7 + 4.2 = 6.9	7 m		
土留支保工	数量計算書P24 1段 撤去	③ 1.0	1 m		
土留支保工	数量計算書P22,23 2段 撤去	① ② 2.7 + 4.2 = 6.9	7 m		
管渠工	下水道管本復旧				
舗装版切断	数量計算書P26	27.3	27 m		
As舗装版破碎	数量計算書P26	21.3	21 m ²		
As殻運搬	数量計算書P26	1.1	1 m ³		
As殻処分	数量計算書P26	1.1	1 m ³		
床掘	数量計算書P27	45.9	50 m ³		
埋戻	数量計算書P27 6.2 + 7.3 = 13.5	13.5	10 m ³		
土砂等運搬	現場⇄プラント 往復分 上記より (13.5 + 1.0) / 0.9 × 2 = 32.2	32.2	30 m ³		
埋戻し材	改良土 上記より (13.5 + 1.0) / 0.9 × 1.2 = 19.3	19.3	20 m ³		
土砂等運搬	現場→プラント 上記より 45.9 - 16.1 = 29.8	29.8	30 m ³		
処分費	上記より	29.8	30 m ³		
硬質塩化ビニル管 設置工	数量計算書P25	12.7	13 m		
硬質塩化ビニル管 撤去工	図面番号15	10.9	11 m		
現場発生品運搬及び 支給品運搬	VU200 : 10.94m×0.007=0.077t 図面番号15 塩ビMH : 8.21m×0.014=0.115t	0.192	0.19 t		
現場発生品運搬及び 支給品積込・荷卸	上記より	0.192	0.19 t		
処分費	上記より 0.192 × 1000 = 192.0	192.0	192 kg		
現場発生品運搬及び 支給品運搬	図面番号15 鋼材 7.0 × 0.046 = 0.322	0.322	0.32 t		
現場発生品運搬及び 支給品積込・荷卸	上記より	0.322	0.32 t		
矢板・鋼管 スラップ 控除	上記より	0.32	0.3 t		
標示テープ	数量計算書P25	4.7	5 m		
管基礎工 基礎工	数量計算書P25	1.0	1 m ³		
碎石基礎工	数量計算書P25	1.5	2 m ³		
軽量鋼矢板土留 建込工	数量計算書P28,29	13.7	14 m		

計 算 総 括 表

名 称	実 施 ・ 元 設 計		変 更 設 計	
軽量鋼矢板土留 引抜き工	数量計算書 P 28, 29	13.7	14 m	
土留支保工	数量計算書 P 28, 29	13.7	14 m	
土留支保工	数量計算書 P 28, 29	13.7	14 m	
仮設鋼材損料	数量計算書 P 30, 37, 38 取付管設置工+管渠工		1 式	
付帯工				
As舗装切断	数量計算書 P 31	89.0	89 m	
As舗装版破砕	数量計算書 P 31	160.0	160 m ²	
As殻運搬	数量計算書 P 31	8.0	8 m ³	
As殻処分	数量計算書 P 31	8.0	8 m ³	
下層路盤工	数量計算書 P 31 ARC-40 t=12cm	160.0	160 m ²	
上層路盤工	数量計算書 P 31 M-40 t=12cm	160.0	160 m ²	
表層工（車道・路肩部）	数量計算書 P 31 ⑤密粒度アスコン(新20FH)	160.0	160 m ²	
区画線	数量計算書 P 32 停止線 溶融式	6.0	6 m	
区画線	数量計算書 P 32 外側線 ペイント式	22.5	23 m	
標識柱・基礎撤去	図面番号17 路側式		1 基	
構造物とりこわし ・運搬・処分	数量計算書 P 33 有筋	7.1	7 m ³	
構造物とりこわし ・運搬・処分	数量計算書 P 33 無筋	11.5	12 m ³	
現場発生品運搬及び 支給品運搬	既設マンホール鉄蓋（2枚） 0.1t/枚 既設塩ビマンホール鉄蓋（4枚） 0.057t/枚	0.428	0.43 t	
現場発生品運搬及び 支給品積込・荷卸	上記より	0.428	0.43 t	
標識柱・基礎設置	図面番号17 路側式		1 基	
仮設工				
既設雨水管接続工 高密度ポリエチレン管撤去・設置	数量計算書 P 34 φ 600 転用品	7.8	8 m	
大型土のう工	数量計算書 P 34 製作・設置		6 袋	
大型土のう工	数量計算書 P 34 撤去 2.0 + 4.0 = 6.0		6 袋	
敷鉄板設置・撤去	数量計算書 P 34 転用品	9.3	9 m ²	
型枠	数量計算書 P 34	4.4	4 m ²	
コンクリート	小型構造物 数量計算書 P 34 18-8-25(20)（高炉）W/C≤60%	0.8	1 m ³	
交通誘導警備員	数量計算書 P 37, 38		135.0 人日	
運搬費				
貨物自動車による運搬			2 台	

計 算 総 括 表

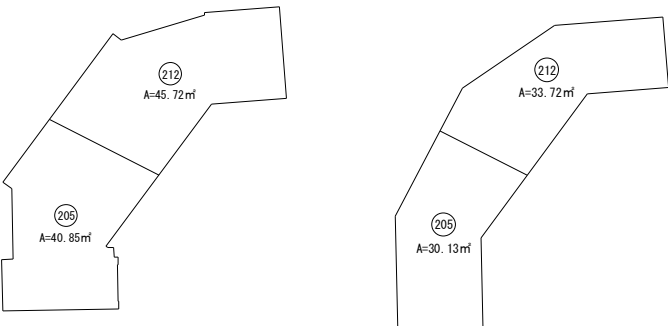
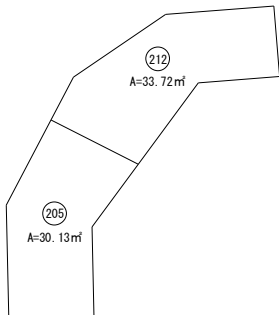
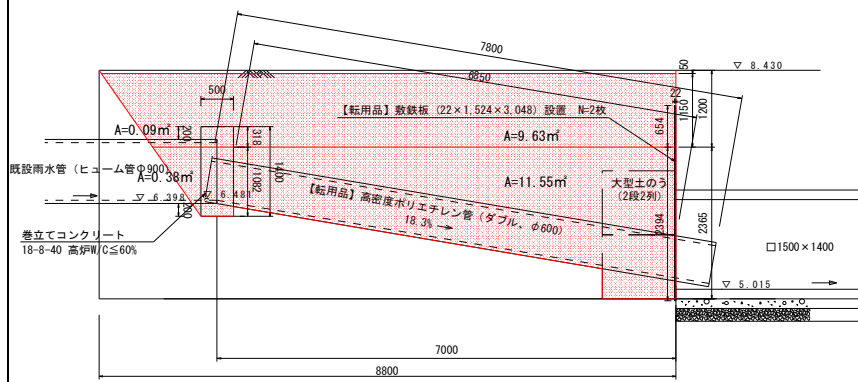
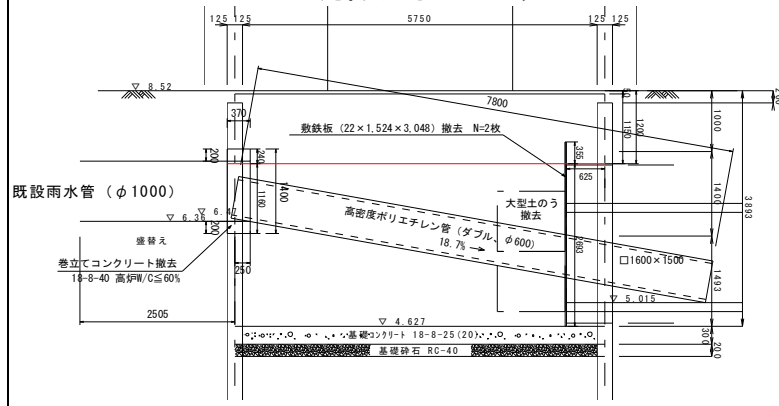
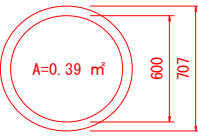
名 称	実 施 ・ 元 設 計		変 更 設 計	
機械組立解体費		1 式		
仮設材等の運搬	数量計算書 P 12, 14, 30 (30.1 + 30.1 + 7.6) × 2 = 135.6	136 t		
仮設材等の積み取り卸し費	数量計算書 P 12, 14, 30 30.1 + 30.1 + 7.6 = 67.8	68 t		
準備費				
試掘	数量計算書 P 35, 36	4 m		
事業損失防止施設費				
家屋調査(打合せ協議)		1 業務		
現地踏査		1 業務		
家屋調査 (事前調査)	数量計算書 P 39	1 業務		

函渠土工・土留工

種 別	算 式 ・ 小 計							数 量	
ボックスカルバート □1500×1400 □1600×1500 205・212 1.土工	・延長(管路部)							19.9 m	
	区間延長	区間延長	M212-1 人孔部/2	M212-1 人孔部/2					
	+ 7.30	+ 15.24	-1.32	-1.32	=	19.90			
	205路線		地盤高		管底高		管底深		
	下流側(M212-1)		8.48	—	5.177	=	3.303		
	上流側(TNo.3)		8.47	—	5.190	=	3.280		
					平均管底深	=	3.292		
	底版	敷モルタル	基礎Co	基礎砕石			平均掘削深		
	3.292	+ 0.15	+ 0.03	+ 0.15	+ 0.20	=	3.822		
	212路線		地盤高		管底高		管底深		
	下流側(EP.1)		8.51	—	5.021	=	3.489		
	上流側(M212-1)		8.48	—	5.032	=	3.448		
					平均管底深	=	3.469		
	底版	敷モルタル	基礎Co	基礎砕石			平均掘削深		
	3.469	+ 0.15	+ 0.03	+ 0.15	+ 0.20	=	3.999		
	・管路掘削								88.3 m3
	初期掘削部	掘削面積A=86.57m2(CAD求積)			障害無し				
		掘削面積	初期掘削深	表層					
	205路線	40.85 ×	(1.20	-0.05)		=	46.98		
	212路線	45.72 ×	(1.20	-0.05)		=	52.58		
	控除 撤去平面図より								
	既設MH	1.68m2		× 2基		=	▲3.36		
	布掘り・桁下			初期掘削深	桁				
	(86.57	-63.85)	×	(1.20	-0.85)	=	▲7.95		
						計	= 88.25		
	管路部 掘削面積A=63.85m2(CAD求積) 障害有り								
		掘削面積	平均掘削深	初期掘削					
205路線	30.13 ×	(3.822	-1.20)		=	79.00			
212路線	33.72 ×	(3.999	-1.20)		=	94.38			
控除 撤去平面図より									
既設MH	2.19m2		× 2基		=	▲4.38			
HP φ 900本管	1.42m2		× 20.9m		=	▲29.68			
HP φ 400取付管①	0.47 ² × π / 4		× 0.60		=	▲ 0.10			
取付管②	(0.60+0.65) / 2 × 0.73		× 0.60		=	▲ 0.27			
HP φ 400取付管③	0.47 ² × π / 4		× 1.10		=	▲ 0.19			
					計	= 138.76			
既設雨水管接続部 (発進立坑)	・管路掘削 掘削面積A=9.63m2(CAD求積) 障害無し								
	初期掘削部	掘削面積	幅	布掘り(両側)					
	9.63 ×	(3.60	+0.50	+0.50)		=	44.30		
	管路部 掘削面積A=11.55m2(CAD求積) 障害有り								
		掘削面積	幅			=	41.58		
	11.55 ×	3.60				41.6 m3			

函渠土工・土留工

種 別	算 式 ・ 小 計	数 量
既設立坑部	・管路掘削 初期掘削部 延長 幅 初期掘削深 表層 障害無し 7.00 × 4.00 × (1.20 -0.05) = 32.20	32.1 m3
	敷き鉄板 (1.524m × 3.048m × 0.022m) 1.524 × 0.355 × 0.022 × 2 = ▲ 0.02	
	巻き立てコンクリート 0.25 × 0.24 × 1.30 = ▲ 0.08	
	計 = 32.10	
	管路部 延長 幅 平均掘削深 初期掘削 障害有り 6.00 × 3.60 × (3.893 -1.20) = 58.17	51.6 m3
	高密度ポリエチレン管 ダブル管、φ 600 $\pi \times (0.707/2)^2 \times (6.00-0.125-0.625)$ = ▲ 2.06	
	大型土のう 1.00m3 × 4袋 = ▲ 4.00	
	敷き鉄板 (1.524m × 3.048m × 0.022m) 1.524 × 2.693 × 0.022 × 2 = ▲ 0.18	
	巻き立てコンクリート 0.25 × 1.16 × 1.30 = ▲ 0.38	
	計 = 51.55	

種 別	算 式 ・ 小 計	数 量
	路面覆工（開削部）  管路掘削（開削部）  既設雨水管接続部（発進立坑）  既設到達立坑  A=0.39㎡ 	

函渠土工・土留工

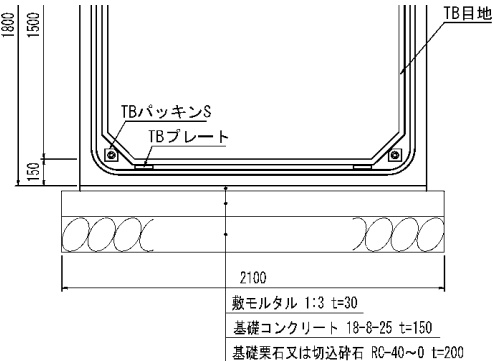
種 別	算 式 ・ 小 計						数 量
管路部	・管路埋戻し 改良土 $\phi 20 \sim 0\text{mm}$						
	205路線	高さ	3.822	-1.200	=	2.622	
	212路線	高さ	3.999	-1.200	=	2.799	
	掘削面積						
	205路線		$30.13 \times$	2.622	=	79.00	
	212路線		$33.72 \times$	2.799	=	94.38	
	控除						
	延長						5.98
	基礎碎石	2.00	$\times 0.20$	$\times 5.98$	=	▲ 2.39	
	基礎コンクリート	2.00	$\times 0.15$	$\times 5.98$	=	▲ 1.79	
	□1500×1400	1.80	$\times 1.70$	$\times 5.98$	=	▲ 18.30	
	敷モルタル	1.80	$\times 0.03$	$\times 5.98$	=	▲ 0.32	
	延長						13.92
	基礎碎石	2.10	$\times 0.20$	$\times 13.92$	=	▲ 5.85	
	基礎コンクリート	2.10	$\times 0.15$	$\times 13.92$	=	▲ 4.38	
	□1600×1500	1.90	$\times 1.80$	$\times 13.92$	=	▲ 47.61	
	敷モルタル	1.90	$\times 0.03$	$\times 13.92$	=	▲ 0.79	
	M212-1基礎材	2.84	$\times 2.84$	$\times 0.35$	=	▲ 2.82	
	M212-1躯体	2.64	$\times 2.64$	$\times 2.75$	=	▲ 19.17	
	敷モルタル	2.64	$\times 2.64$	$\times 0.02$	=	▲ 0.14	
	HP $\phi 400$ 取付管①	$0.47^2 \times \pi / 4$	$\times 0.60$	=	▲ 0.10		
	HP $\phi 600$ 取付管②	$0.70^2 \times \pi / 4$	$\times 0.58$	=	▲ 0.22		
	HP $\phi 400$ 取付管③	$0.47^2 \times \pi / 4$	$\times 0.58$	=	▲ 0.10		
	計					= 69.40	69.4 m3
	路床工 改良土 $\phi 40 \sim 0\text{mm}$						
	初期掘削高さ	1.20	$-$	0.29	=	0.91	
	63.85	$\times 0.91$			=	58.1	
	(86.57	$-63.85) \times$	(0.85	$-0.29)$	=	12.72	
	控除						
	躯体・頂版	M212-1	2.64	$\times 2.64$	$\times 0.252$	=	▲ 1.76
	1号斜壁	$\pi / 4 \times (1.05^2 + 0.82^2) / 2$	$\times 2$	$\times 0.60$	=	▲ 0.84	
	1号調整	$0.82^2 \times \pi / 4$	$\times 2$	$\times 0.058$	=	▲ 0.06	
	計					= 68.16	68.2 m3
既設雨水管接続部 (発進立坑)	・管路埋戻し 改良土 $\phi 20 \sim 0\text{mm}$						
	掘削面積A=11.55m ² (CAD求積)						
	掘削面積	幅					
	11.55	$\times$	3.60		=	41.58	
	高密度ポリエチレン管 ダブル管、 $\phi 600$						
		$\pi \times (0.707/2)^2$	$\times 6.85$		=	▲ 2.69	

函渠土工・土留工

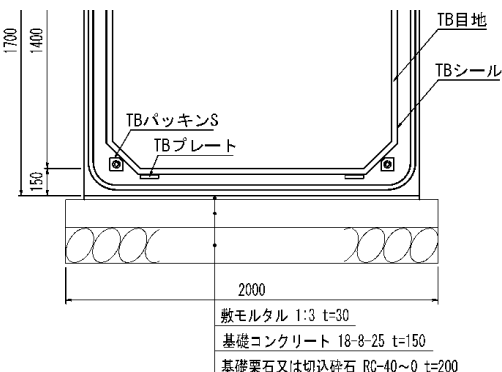
種 別	算 式 ・ 小 計	数 量
	大型土のう 1.00m3 × 4袋 = ▲ 4.00 敷き鉄板 (1.524m × 3.048m × 0.022m) 1.524 × 2.394 × 0.022 × 2 = ▲ 0.16 巻き立てコンクリート 0.50 × 1.082 × 1.30 = ▲ 0.70 既設雨水管 断面積A=0.38m2 (CAD求積) 断面積 幅 0.38 × 1.05 = ▲ 0.40 計 = 33.63	33.6 m3
	改良土 φ40~0mm 掘削面積A=9.63m2 (CAD求積) 掘削面積 幅 布掘り(両側) 9.63 × (3.60 +0.50 +0.50) = 44.30 敷き鉄板 (1.524m × 3.048m × 0.022m) 1.524 × 0.654 × 0.022 × 2 = ▲ 0.04 巻き立てコンクリート 0.50 × 0.318 × 1.30 = ▲ 0.21 既設雨水管 断面積A=0.09m2 (CAD求積) 断面積 幅 0.09 × 1.05 = ▲ 0.09 計 = 43.96	44.0 m3
	・床掘り 障害無し 88.3 + 44.3 + 32.1 = 164.70	164.7 m3
	・床掘り 障害有り 138.8 + 41.6 + 51.6 = 232.0	232.0 m3
	・埋戻 69.4 + 68.2 + 33.6 + 44.0 = 215.20	215.2 m3

種 別	算 式 ・ 小 計	数 量
	既設取付管接続部	

函渠布設工(ボックス布設工)

種 別	算 式 ・ 小 計				数 量
□1600×1500 212路線	 敷きモルタル 1:3 t=30 基礎コンクリート 18-8-25 t=150 基礎栗石又は切込砕石 RC-40~0 t=200				
1.函布設工	・布設延長	区間延長 13.92	=	13.92	13.9 m
	・基礎延長	13.92	=	13.92	13.9 m
	・基礎砕石工(=基面整正)	RC-40 t=20cm 13.92 × 2.10	=	29.23	29.2 m ²
		29.23 × 0.20	=	5.85	5.9 m ³
	・基礎コンクリート工	18-8-25 t=15cm 13.92 × 2.10 × 0.15	=	4.38	4.4 m ³
	・型枠工	13.92 × 0.15 × 2	=	4.18	4.2 m ²
	・敷きモルタル (1: 3)	t=3cm 13.92 × 1.90 × 0.03	=	0.79	0.8 m ³
	・PCボックスカルバート				
	1600×1500×2000		=	2.0	2 本
	1600×1500×1000 (短尺加工)		=	1.0	1 本
	1600×1500×1310 (短尺加工)		=	1.0	1 本
	1600×1500×600 (短尺加工)		=	1.0	1 本
	1600×1500×2000 (横穴加工)		=	1.0	1 本
	1600×1500×1263 (斜切加工)		=	1.0	1 本
	1600×1500×1162 (斜切加工)		=	1.0	1 本
	1600×1500×1166 (斜切加工)		=	1.0	1 本
	1600×1500×1634 (斜切・横穴加工)		=	1.0	1 本
	・TBコーキング工法材料	212路線			
	TBボンド (5.71kg/目地)	5.71 (10箇所)	=	57.10	57.1 kg
	TBジョイントバー	4.00 (10箇所)	=	40.00	40.0 本
	TBシール (6.031m/目地)	6.03 (10箇所)	=	60.31	60.3 m

函渠布設工(ボックス布設工)

種 別	算 式 ・ 小 計					数 量
□1500×1400 205路線 1.函布設工						
	・布設延長 区間延長	区間延長 5.98		=	5.98	6.0 m
	・基礎延長	5.98		=	5.98	6.0 m
	・基礎砕石工(=基面整正)	RC-40 t=20cm 5.98 × 2.00		=	11.96	12.0 m ²
		11.96 × 0.20		=	2.39	2.4 m ³
	・基礎コンクリート工	18-8-25 t=15cm 5.98 × 2.00 × 0.15		=	1.79	1.8 m ³
	・型枠工	5.98 × 0.15 × 2		=	1.79	1.8 m ²
	・敷きモルタル (1: 3)	t=3cm 5.98 × 1.80 × 0.03		=	0.32	0.3 m ³
	・PCボックスカルバート					
	1500×1400×2000 (標準)			=	1.0	1 本
	1500×1400×1064 (短尺加工)			=	1.0	1 本
	1500×1400×1466 (斜切加工)			=	1.0	1 本
	1500×1400×1672 (斜切・横穴加工)			=	1.0	1 本
	・TBコーキング工法材料	205路線				
	TBボンド (5.32kg/目地)	5.32 (3箇所)		=	15.96	16.0 kg
	TBジョイントバー	4.00 (3箇所)		=	12.00	12.0 本
	TBシール (5.631m/目地)	5.63 (3箇所)		=	16.89	16.9 m

マンホール工

種 別	算 式 ・ 小 計	数 量
箱形マンホール	□2200×2200 M212-1	
1.マンホール深 (人孔芯深さ)	8.480 - 5.032 = 3.448	3.448 m
2.基礎工		
・基礎コンクリート工 18-8-25 t=150mm	2.84 × 2.84 × 0.15 = 1.21	1.2 m3
・型枠工 (2.84 + 2.84) × 2 × 0.15 = 1.70		1.7 m2
・基礎砕石工(=基面整正) RC-40 t=200mm 2.84 × 2.84 = 8.07		8.1 m2
2.84 × 2.84 × 0.20 = 1.61		1.6 m3
・敷きモルタル(1:3) t=20mm	2.64 × 2.64 × 0.02 = 0.14	0.1 m3
3.インバートコンクリート		
・インバートコンクリート 18-8-25 (2.20 × 2.20 - 0.10 × 0.10 × 2) × 0.30 - 0.05 × 0.05 × 1/2 × (2.20 + 2.20) × 2.0 = 1.44		1.4 m3
インバート高さ=(0.645+0.500)/2-0.270(底版厚)=0.30		
・モルタル上塗り(1:2) 2.20 × 2.20 - 0.10 × 0.10 × 4 = 4.80		4.8 m2
材料		
人孔蓋(φ600mm)	= 1.0	1 組
受枠変形防止金具(φ600用)	= 1.0	1 箇所
調整リング(φ600mm)H=150mm	= 1.0	1 個
斜壁1号(φ600~φ900mm)H=600mm	= 1.0	1 個
頂版(S)2200×2200 H=300mm	= 1.0	1 個
基礎ブロック(MB12)2200×2200 H=1200mm	= 1.0	1 個
基礎ブロック(B)2200×2200 H=1500mm	= 1.0	1 個
組立式箱型マンホール開口費 ボックスカルバート(B)1600mm×(H)1500mm	= 1.0	1 個
組立式箱型マンホール開口費 ボックスカルバート(B)1500mm×(H)1400mm	= 1.0	1 個
・TBコーキング工法材料 212路線 TBボンド(7.44kg/目地) 7.44 (1箇所) = 7.44		7.4 kg
・TBコーキング工法材料 205路線 TBボンド(7.05kg/目地) 7.05 (1箇所) = 7.05		7.1 kg

種 別	算 式 ・ 小 計	数 量
2.土留工 管路部	・鋼矢板圧入工 鋼矢板Ⅲ型 L=8.00m 最大N値 ≤25 圧入長 L=7.50m 圧入長 L=9.00m以下 36 + 19 + 10 + 22 = 87	
管路部	・鋼矢板圧入工 鋼矢板Ⅲ型 L=7.50m 最大N値 ≤25 圧入長 L=7.00m 圧入長 L=9.00m以下 6 + 4 + 20 = 30 87 + 30 = 117	117 枚
	・鋼矢板引抜き工(充填工法併用引抜き) 鋼矢板Ⅲ型 L=8.00m 引抜き長 L=7.50m 引抜き長 L=9.00m以下 19 + 36 = 55	55 枚
	・引抜同時充填工法 充填管設置 充填管L=7.3m 充填長L=7.5m 充填材料 鋼矢板Ⅲ型 0.028 × 7.5 × 1.06 = 0.2226 ÷ 223ℓ/枚 223ℓ/枚 × 55 = 12,265	6 本 12,265 ℓ
	特許技術料(ロス無し) 0.028 × 7.5 × 55 = 11.550	11.550 m ³
	・鋼矢板残置(購入) 鋼矢板Ⅲ型 L=8.00m (転用分) (引抜分) 87 — 19 — 36 = 32 重量 2 × 8.00 × 0.060 = 0.96 重量 一部撤去分 30 × 6.50 × 0.060 = 11.70 0.96 + 11.70 = 12.66	12.7 t
	鋼矢板Ⅲ型 L=7.50m 重量 30 × 7.50 × 0.060 = 13.50	13.5 t
	・鋼矢板重量(リース) t/m 36 × 8.00 × 0.060 = 17.28	36 枚 17.3 t
	・鋼矢板切断工 8 + 22 + 20 = 50	50箇所
	・スクラップ重量 t/m 50 × 1.50 × 0.060 = 4.50	4.5 t
	・鋼矢板搬入・搬出重量(リース)	17.3 t

函渠土工・土留工

種 別	算 式 ・ 小 計	数 量
	・鋼製支保工(開削部) 主部材(腹起し) 1段 H-300×300×10×15 100kg/m (12.33 + 7.75 + 3.78 + 4.43 + 4.68 + 6.15 + 13.16) × 0.100 = 5.23 主部材(切梁) 1段 H-300×300×10×15 100kg/m (2.75 + 2.75 + 2.75 + 2.75 + 2.84 + 3.21 + 3.57 + 3.01 + 2.20 + 2.20) × 0.100 = 2.80 5.23 + 2.80 = 8.03 8.0 t ・副部材(A) 8.03 × 0.22 = 1.77 1.8 t ・副部材(B)全損 8.03 × 0.04 = 0.32 0.3 t ・鋼製支保工設置工 8.03 + 1.770 + 0.320 = 10.12 10.1 t ・鋼製支保工撤去工 = 10.12 10.1 t ・鋼製支保工搬入・搬出重量(リース) 8.03 + 1.77 = 9.80 9.8 t	

函渠土工・土留工

種 別	算 式 ・ 小 計							数 量
H鋼杭	親杭 H-300×300×10×15 W= 93kg/m							
	全体	8.0m	×	6本	×	0.093t/m	=	4.5 t
	うち、購入	8.0m	×	2本	×	0.093t/m	=	1.5 t
	リース	8.0m	×	4本	×	0.093t/m	=	3.0 t
	・H鋼杭打込工 覆工板+余裕高							
	L=	8.0m	-	0.25m	=	7.75m		
	N=						=	6 本
	・H鋼杭引抜工(充填工法併用引抜き)							
	L=	8.0m	-	0.25m	=	7.75m		
	N=						=	4 本
	W1=	8.0m	×	4本	×	0.093t/m	=	3.0 t
	・引抜同時充填工法							
	充填管設置 充填管L=7.3m 充填長L=7.5m							4 本
	充填材料 H鋼杭							
	ロス6%							
	0.044	×	7.5	×	1.06	=	0.3498	
						÷	350ℓ/枚	
			350ℓ/枚	×	4	=	1,400	1,400 ℓ
	特許技術料(ロス無し)							
			1,400	÷	1.06	=	1,320.75	1,321 ℓ
・H鋼杭切断工								
N=						=	2 箇所	
・H鋼杭撤去(スクラップ)								
地盤高より 覆工板+余裕高								
撤去長	1.50m	-	0.25m	=	1.25m			
1.25m	×	2本	×	0.093t/m	=	0.233	0.2 t	
・H鋼杭残置(購入)								
残置長	8.00m	-	1.25m	=	6.75m			
6.75m	×	2枚	×	0.093t/m	=		1.3 t	
・H鋼搬入・搬出重量(リース)								
					=	2.98	3.0 t	
仮設材搬入・搬出 合計								
17.30	+	9.80	+	2.98	=	30.08	30.1 t	

函渠土工・土留工

種 別	算 式 ・ 小 計						数 量
	・木矢板土留工						
	木矢板設置工						
	t=92mm	2.03	×	3.17	=	6.44	
		6.44	×	0.092	=	0.59	
	t=37mm	0.83	×	2.97	=	2.47	
		2.47	×	0.037	=	0.09	
	t=65mm	1.43	×	3.17	=	4.53	
		4.53	×	0.065	=	0.29	
	木矢板撤去工						
	t=92mm	2.03	×	3.17	=	6.44	
		6.44	×	0.092	=	0.59	
	t=37mm	0.83	×	2.97	=	2.47	
		2.47	×	0.037	=	0.09	
	t=65mm	1.43	×	3.17	=	4.53	
		4.53	×	0.065	=	0.29	
	材料						
	欠損部① 木矢板 t=37mm L=0.83m (t=3~4.5cm材)				=	2.47	2.5 m2
	欠損部② 木矢板 t=92mm L=2.03m (t=5~6.0cm材を2枚重ね)	×	2		=	6.44	12.9 m2
					=	12.88	
	欠損部③ 木矢板 t=65mm L=1.43m (t=3~4.5cm材を2枚重ね)	×	2		=	4.53	9.1 m2
					=	9.06	
	(0.09 +0.59 ×2 +0.29 ×2)				×	0.80	1.5 t
					=	1.480	

函渠土工・土留工

種 別	算 式 ・ 小 計							数 量			
路面覆工(開削部) 覆工板	面積	(5.0m × 2.0m)+(5.0m × 8.0m)+(4.0m × 3.0m)					=	62.0	62.0 m2		
	重量	覆工板	5.00m	×	2.00m	×	0.20t/m2	=		2.0t	
		〃	5.00m	×	8.00m	×	0.20t/m2	=		8.0t	
		〃	4.00m	×	3.00m	×	0.20t/m2	=		2.4t	
					小計		=	12.4t			
	受桁・桁受け重量		62.0	×	0.134		=	8.3t			
					計		=	20.7t			
	路面覆工(既設到達立坑) 覆工板	面積	(4.0m × 2.0m)+(4.0m × 3.0m)+(4.0m × 2.0m)					=	28.0	28.0 m2	
		重量	覆工板	4.00m	×	2.00m	×	0.20t/m2	=		1.6t
			〃	4.00m	×	3.00m	×	0.20t/m2	=		2.4t
		〃	4.00m	×	2.00m	×	0.20t/m2	=	1.6t		
					小計		=	5.6t			
受桁・桁受け重量			28.0	×	0.134		=	3.8t			
					計		=	9.4t			
仮設材搬入・搬出 合計											
			20.7	+	9.4		=	30.1	30.1 t		

発進立坑 薬液注入工数量総括表

立坑番号	注入本数 (本)	総注入量 (k l)	1本当り注入量 (k l /本)	1日当り施工本数 (本)	備考
矢板欠損部①	6	10.758	1.793	4.6	
矢板欠損部②	7	14.292	2.042	4.2	
矢板欠損部③	5	9.263	1.853	4.5	
計	A 18	B 34.313	C=B/A 1.906	4.4	

名 称	計 算 式 及 び 略 図	数 量
◎矢板欠損部① 薬液注入工		
(1) 注入箇所数		1 箇所
(2) 削孔本数	$6.080\text{m}^2 \div 1\text{本}/\text{m}^2 = 6\text{本}$ $6\text{本} \times 1\text{箇所}$	6 本
(3) 削孔長	粘性土 (N= 0～ 4)	= 1.90
	〃 (N= 4～ 8)	= -
	〃 (N= 8～15)	= -
	砂質土 (N= 0～10)	= 1.86
	〃 (N=10～30)	= -
	〃 (N=30以上)	= -
	砂礫土 (N=10～30)	= 2.22
	〃 (N=30～50)	= -
	〃 (N=50以上)	= -
	合計=	5.98 m
(4) 施工長	粘性土 (N= 0～ 4)	= 1.51
	〃 (N= 4～ 8)	= -
	〃 (N= 8～15)	= -
	砂質土 (N= 0～10)	= 0.75
	〃 (N=10～30)	= -
	〃 (N=30以上)	= -
	砂礫土 (N=10～30)	= 2.22
	〃 (N=30～50)	= -
	〃 (N=50以上)	= -
	合計=	4.48 m
(5) 対象土量	A = 6.080m ²	
	粘性土 (N= 0～ 4) 1.51m × A × 1箇所	= 9.18
	〃 (N= 4～ 8) - m × A	= -
	〃 (N= 8～15) - m × A	= -
	砂質土 (N= 0～10) 0.75m × A × 1箇所	= 4.56
	〃 (N=10～30) - m × A	= -
	〃 (N=30以上) - m × A	= -
	砂礫土 (N=10～30) 2.22m × A × 1箇所	= 13.50
	〃 (N=30～50) - m × A	= -
	〃 (N=50以上) - m × A	= -
	合計=	27.24 m ³

薬液注入工数量計算書

◎ 立 坑 番 号 矢板欠損部①

◎ 注 入 方 法 ==> 複相式

◎ 注 入 本 数 $n = 6$ (本)

◎ 注 入 量 $V = v * \rho * \alpha$
 $= 10.758$ (kl)

◎ 1 本 当 り 注 入 量 $Q_s = V / n$
 $= 1.793$ (kl/本)
 $= 1793$ (l/本)

◎ 1 本 当 り 施 工 時 間 $T_s = T_1 + T_2 + T_3 + T_4$
 $=$ (min)

1) 準 備 時 間 $T_1 =$ (min)

2) 削 孔 時 間 $T_2 = \sum (\gamma_1 * l_0)$
 $=$ (min)

3) 注 入 時 間 $T_3 = Q_s / q_s$
 $=$ (min)

4) 引 抜 時 間 $T_4 = \gamma_2 * l_2$
 $=$ (min)

◎ 1 日 当 り 施 工 本 数 $N = (60 * H) / T_s * 2$
(2セット) $=$ (本)

土質	N 値	削孔長 L	施工長 h	対象土量 v	間隙率 ρ	充填率 α	注入量 V
粘性土	0~4	1.90	1.51	9.18	70	55	3.534
	4~8			0.00	60	50	0.000
	8~15			0.00	50	30	0.000
砂質土	0~10	1.86	0.75	4.56	50	80	1.824
	10~30			0.00	40	80	0.000
	30以上			0.00	30	70	0.000
砂礫土	10~30	2.22	2.22	13.50	50	80	5.400
	30~50			0.00	35	80	0.000
	50以上			0.00	25	80	0.000
		5.98	4.48	27.24			10.758
		土被り長⇒		1.50			

削孔の単位作業時間 (min/m)			
土質	礫質土	砂質土	粘性土
γ_1			

l_0 : 各土質毎の削孔長 (m)

単位時間当り注入量 (kl/min)		
工法名	単相式	複相式
q_s		

Q_s : 1本当り注入量 (kl)

土被り引抜時間 (min/m)	
γ_2	

l_2 : 土被り長 (m)

H : 1日当り実作業時間 (h)

名 称	計 算 式 及 び 略 図				数 量
◎矢板欠損部② 薬液注入工					
(1) 注入箇所数					1 箇所
(2) 削孔本数	7.730m2÷1本/m2=7本 7本×1箇所				7 本
(3) 削孔長	粘性土(N= 0～ 4)	=	1.90	1.90 m	
	〃 (N= 4～ 8)	=	-		
	〃 (N= 8～15)	=	-		
	砂質土(N= 0～10)	=	1.90	1.90 m	
	〃 (N=10～30)	=	-		
	〃 (N=30以上)	=	-		
	砂礫土(N=10～30)	=	2.38	2.38 m	
	〃 (N=30～50)	=	-		
	〃 (N=50以上)	=	-		
	合計=				6.18 m
(4) 施工長	粘性土(N= 0～ 4)	=	1.55	1.55 m	
	〃 (N= 4～ 8)	=	-		
	〃 (N= 8～15)	=	-		
	砂質土(N= 0～10)	=	0.75	0.75 m	
	〃 (N=10～30)	=	-		
	〃 (N=30以上)	=	-		
	砂礫土(N=10～30)	=	2.38	2.38 m	
	〃 (N=30～50)	=	-		
	〃 (N=50以上)	=	-		
	合計=				4.68 m
(5) 対象土量	A = 7.730m2				11.98 m3
	粘性土(N= 0～ 4)	1.55m × A × 1箇所	=	11.98	
	〃 (N= 4～ 8)	- m × A	=	-	
	〃 (N= 8～15)	- m × A	=	-	
	砂質土(N= 0～10)	0.75m × A × 1箇所	=	5.80	
	〃 (N=10～30)	- m × A	=	-	
	〃 (N=30以上)	- m × A	=	-	
	砂礫土(N=10～30)	2.38m × A × 1箇所	=	18.40	
	〃 (N=30～50)	- m × A	=	-	
	〃 (N=50以上)	- m × A	=	-	
合計=				36.18 m3	

薬液注入工数量計算書

◎ 立 坑 番 号 矢板欠損部②

◎ 注 入 方 法 ==> 複相式

◎ 注 入 本 数 $n = 7$ (本)

◎ 注 入 量 $V = v * \rho * \alpha$
 $= 14.292$ (kl)

◎ 1 本 当 り 注 入 量 $Q_s = V / n$
 $= 2.042$ (kl/本)
 $= 2042$ (l/本)

◎ 1 本 当 り 施 工 時 間 $T_s = T_1 + T_2 + T_3 + T_4$
 $=$ (min)

1) 準 備 時 間 $T_1 =$ (min)

2) 削 孔 時 間 $T_2 = \sum (\gamma_1 * l_0)$
 $=$ (min)

3) 注 入 時 間 $T_3 = Q_s / q_s$
 $=$ (min)

4) 引 抜 時 間 $T_4 = \gamma_2 * l_2$
 $=$ (min)

◎ 1 日 当 り 施 工 本 数 $N = (60 * H) / T_s * 2$
(2セット) $=$ (本)

土質	N値	削孔長 L	施工長 h	対象土量 v	間隙率 ρ	充填率 α	注入量 V
粘性土	0~4	1.90	1.55	11.98	70	55	4.612
	4~8			0.00	60	50	0.000
	8~15			0.00	50	30	0.000
砂質土	0~10	1.90	0.75	5.80	50	80	2.320
	10~30			0.00	40	80	0.000
	30以上			0.00	30	70	0.000
砂礫土	10~30	2.38	2.38	18.40	50	80	7.360
	30~50			0.00	35	80	0.000
	50以上			0.00	25	80	0.000
		6.18	4.68	36.18			14.292
		土被り長⇒		1.50			

削孔の単位作業時間 (min/m)			
土質	礫質土	砂質土	粘性土
γ_1			

l_0 : 各土質毎の削孔長 (m)

単位時間当り注入量 (kl/min)		
工法名	単相式	複相式
q_s		

Q_s : 1本当り注入量 (kl)

土被り引抜時間 (min/m)	
γ_2	

l_2 : 土被り長 (m)

H : 1日当り実作業時間 (h)

名 称	計 算 式 及 び 略 図	数 量
◎矢板欠損部③ 薬液注入工		
(1) 注入箇所数		1 箇所
(2) 削孔本数	$5.010\text{m}^2 \div 1\text{本}/\text{m}^2 = 5\text{本}$ 5本×1箇所	5 本
(3) 削孔長	粘性土(N= 0～ 4)	= 1.90
	〃 (N= 4～ 8)	= -
	〃 (N= 8～15)	= -
	砂質土(N= 0～10)	= 1.90
	〃 (N=10～30)	= -
	〃 (N=30以上)	= -
	砂礫土(N=10～30)	= 2.38
	〃 (N=30～50)	= -
	〃 (N=50以上)	= -
	合計=	6.18 m
(4) 施工長	粘性土(N= 0～ 4)	= 1.55
	〃 (N= 4～ 8)	= -
	〃 (N= 8～15)	= -
	砂質土(N= 0～10)	= 0.75
	〃 (N=10～30)	= -
	〃 (N=30以上)	= -
	砂礫土(N=10～30)	= 2.38
	〃 (N=30～50)	= -
	〃 (N=50以上)	= -
	合計=	4.68 m
(5) 対象土量	A = 5.010m ²	
	粘性土(N= 0～ 4) 1.55m × A × 1箇所	= 7.77
	〃 (N= 4～ 8) - m × A	= -
	〃 (N= 8～15) - m × A	= -
	砂質土(N= 0～10) 0.75m × A × 1箇所	= 3.76
	〃 (N=10～30) - m × A	= -
	〃 (N=30以上) - m × A	= -
	砂礫土(N=10～30) 2.38m × A × 1箇所	= 11.92
	〃 (N=30～50) - m × A	= -
	〃 (N=50以上) - m × A	= -
	合計=	23.45 m ³

薬液注入工数量計算書

◎ 立 坑 番 号 矢板欠損部③

◎ 注 入 方 法 ==> 複相式

◎ 注 入 本 数 $n = 5$ (本)

◎ 注 入 量 $V = v * \rho * \alpha$
 $= 9.263$ (kl)

◎ 1 本 当 り 注 入 量 $Q_s = V / n$
 $= 1.853$ (kl/本)
 $= 1853$ (l/本)

◎ 1 本 当 り 施 工 時 間 $T_s = T_1 + T_2 + T_3 + T_4$
 $=$ (min)

1) 準 備 時 間 $T_1 =$ (min)

2) 削 孔 時 間 $T_2 = \sum (\gamma_1 * l_0)$
 $=$ (min)

3) 注 入 時 間 $T_3 = Q_s / q_s$
 $=$ (min)

4) 引 抜 時 間 $T_4 = \gamma_2 * l_2$
 $=$ (min)

◎ 1 日 当 り 施 工 本 数 $N = (60 * H) / T_s * 2$
(2セット) $=$ (本)

土質	N 値	削孔長 L	施工長 h	対象土量 v	間隙率 ρ	充填率 α	注入量 V
粘性土	0~4	1.90	1.55	7.77	70	55	2.991
	4~8			0.00	60	50	0.000
	8~15			0.00	50	30	0.000
砂質土	0~10	1.90	0.75	3.76	50	80	1.504
	10~30			0.00	40	80	0.000
	30以上			0.00	30	70	0.000
砂礫土	10~30	2.38	2.38	11.92	50	80	4.768
	30~50			0.00	35	80	0.000
	50以上			0.00	25	80	0.000
		6.18	4.68	23.45			9.263
		土被り長⇒		1.50			

削孔の単位作業時間 (min/m)			
土質	礫質土	砂質土	粘性土
γ_1			

l_0 : 各土質毎の削孔長 (m)

単位時間当り注入量 (kl/min)		
工法名	単相式	複相式
q_s		

Q_s : 1本当り注入量 (kl)

土被り引抜時間 (min/m)	
γ_2	

l_2 : 土被り長 (m)

H : 1日当り実作業時間 (h)

取付管設置工

種 別	算 式 ・ 小 計						数 量
取付管① 1.土工	HP φ 400						
	地盤高	上下流管底高平均	管厚	基礎厚h3	基礎厚h4	掘削深	
	8.470	— 6.707	+ 0.035	+ 0.15	+ 0.15	=	2.10
	掘削幅					=	1.40
	延長	3.30	—0.60			=	2.70
	管路掘削						
		1.40	×	(2.10	— 0.05)	×	2.70
						=	7.75
	管路埋戻し	改良土	φ 20~0mm				
	高さ	2.10	—0.29	—1.00		=	0.81
2.土留工		1.40	×	0.81	×	2.70	=
						=	3.06
	控除						
	HP φ 400取付管		※120° 固定基礎参照				
	$0.47^2 \times \pi / 4$	×	2.70	+ 0.262	×	2.70	=
						▲ 1.18	
				小計		=	1.88
	高さ	路床工	改良土	φ 40~0mm			
						=	1.00
3.設置工		1.40	×	1.00	×	2.70	=
						=	3.78
	計	1.88	+	3.78		=	5.66
							5.7 m3
	軽量鋼矢板土留工						
	掘削深H≤2.50	軽量鋼矢板長L=2.5m	水圧式パイプサポート支保工2段				
	軽量鋼矢板建込工・引抜工					=	2.70
							2.7 m
	布設延長					=	3.30
							3.3 m
3.設置工	基礎延長		3.30	ボックス厚	—0.15	=	3.15
	基礎碎石工	RC-40	t=15cm				
			0.80	×	3.15	=	2.52
							2.5 m2
			2.52	×	0.15	=	0.38
							0.4 m3
	120° 固定基礎	18-8-25					
		1.42	÷ 10.0	×	3.15	=	0.45
							0.5 m3
	型枠工		5.40	÷ 10.0	×	3.15	=
3.設置工							1.70
							1.7 m2
	材料						
		HP φ 400mm B形管 (2.43m/本)					
		3.30	÷ 2.43			=	1.36
							2 本

取付け管設置工

種 別	算 式 ・ 小 計						数 量
取付管② 1.土工	HP φ 600						
	地盤高	上下流管底高平均	管厚	基礎厚h3	基礎厚h4	掘削深	
	8.470	－ 6.342	＋ 0.05	＋ 0.15	＋ 0.15	=	2.48
		掘削幅				=	1.65
		延長	4.80	－0.60		=	4.20
	管路掘削						
		1.65	×	(2.48	－ 0.05)	×	4.20
						=	16.84
	管路埋戻し	改良土	φ 20～0mm				
	高さ	2.48	－0.29	－1.00		=	1.19
		1.65	×	1.19	×	4.20	=
						=	8.25
	控除						
	HP φ 600取付管	※120° 固定基礎参照					
	$0.70^2 \times \pi / 4$	×	4.20	＋ 0.363	×	4.20	=
						▲	3.14
2.土留工				小計		=	5.11
		路床工	改良土	φ 40～0mm			
	高さ					=	1.00
		1.65	×	1.00	×	4.20	=
						=	6.93
	計	5.11	+	6.93		=	12.04
	軽量鋼矢板土留工						
	掘削深H≤2.50	軽量鋼矢板長L=3.0m	水圧式パイプサポート支保工2段				
	軽量鋼矢板建込工・引抜工					=	4.20
							4.2 m
3.設置工	布設延長					=	4.70
							4.7 m
	基礎延長		4.70	ボックス厚	－0.150	=	4.55
	基礎碎石工	RC-40	t=15cm				
			1.05	×	4.55	=	4.78
			4.78	×	0.15	=	0.72
							0.7 m3
	120° 固定基礎	18-8-25					
		2.05	÷ 10.0	×	4.55	=	0.93
							0.9 m3
	型枠工		6.60	÷ 10.0	×	4.55	=
							3.00
							3.0 m2
	材料						
		HP φ 600mm B形管 (2.43m/本)	4.70	÷ 2.43		=	1.9
							2 本

取付け管設置工

種 別	算 式 ・ 小 計						数 量
取付管③ 1.土工	HP φ 400						
	地盤高	上下流管底高平均	管厚	基礎厚h3	基礎厚h4	掘削深	
	8.470	－ 6.813	＋ 0.035	＋ 0.15	＋ 0.15	=	1.99
		掘削幅				=	1.40
		延長	2.10	－1.10		=	1.00
	管路掘削						
		1.40	×	(1.99	－ 0.05)	×	1.00
						=	2.72
	2.7 m3						
	管路埋戻し	改良土	φ 20～0mm				
	高さ	1.99	－0.29	－1.00		=	0.70
		1.40	×	0.70	×	1.00	=
						=	0.98
	控除						
	HP φ 400取付管	※120° 固定基礎参照					
	$0.47^2 \times \pi / 4$	×	1.00	＋ 0.262	×	1.00	=
						▲ 0.44	
				小計		=	0.54
2.土留工 3.設置工	路床工	改良土	φ 40～0mm				
	高さ					=	1.00
		1.40	×	1.00	×	1.00	=
						=	1.40
	計	0.54	+	1.40		=	1.94
	1.9 m3						
	・軽量鋼矢板土留工						
	掘削深H≤2.00	軽量鋼矢板長L=2.5m	水圧式パイプサポート支保工2段				
	軽量鋼矢板建込工・引抜工					=	1.00
							1.0 m
	・布設延長					=	1.70
							1.7 m
	・基礎延長		1.70	ボックス厚	－0.15	=	1.55
	・基礎砕石工	RC-40	t=15cm				
			0.80	×	1.55	=	1.24
							1.2 m2
			1.24	×	0.15	=	0.19
							0.2 m3
	・120° 固定基礎	18-8-25					
		1.42	÷ 10.0	×	1.55	=	0.22
							0.2 m3
	・型枠工		5.40	÷ 10.0	×	1.55	=
							0.84
							0.8 m2
	材料						
	HP φ 400mm B形管(2.43m/本)						
		1.70	÷ 2.43			=	0.7
							1 本

管布設工数量計算書

[illegible]

※立坑部における土工等の数量は延長に換算し計上している。

土工数量計算書（その1）

[illegible]

土工数量計算書 (その2)

※1:その他市道 2:1・2級市道 3:県道N4交通 4:県道N5-1交通 5:県道N5-2交通 6:県道N6-1交通
7:県道N6-2交通 8:県道N7交通 9:歩道部 10:私道(砂利) 11:私道(コン)

[illegible]

土留工数量計算書（その1）

路線 番号	人孔 番号	土留延長	平均 掘削深	掘削幅	掘削深区分 平均掘削深						軽量金属支保工			備 考 (接続桝設置箇所数)
											1 段	2 段	2 段	
											腹起し t=75mm	腹起し t=75mm	腹起し t=110mm	
		(m)	(m)	(m)	H1<=1.5m (m)	H1<=2.0m (m)	H1<=2.5m (m)	H1<=3.0m (m)	H1<=3.5m (m)	H1<=3.8m (m)	(m)	(m)	(m)	
	上流側 ～下流側	13.67	2.326	1.56			13.67					13.67		
合計		13.67	上段:0.1BH使用 上段:0.2BH使用				13.67					13.67		

土留工数量計算書（その2）

路線 番号	人孔 番号	土留延長	平均 掘削深	矢板長	掘削幅	仮設材使用区分						軽量金属支保工			備 考
						軽量鋼矢板						1 段	2 段	2 段	
						ℓ=1.5m	ℓ=2.0m	ℓ=2.5m	ℓ=3.0m	ℓ=3.5m	ℓ=4.0m	腹起し t=75mm	腹起し t=75mm	腹起し t=110mm	
		(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	
	上流側 ～下流側	13.67	2.326	2.526	1.56				13.67				13.67		
合計		13.67		上段:0.1BH使用 上段:0.2BH使用					13.67				13.67		

仮設鋼材損料計算書

1. 施工延長及び供用日数総括表

使用鋼材名	軽量金属支保工						合計	
	1段(75mm)		2段(75mm)		2段(110mm)		施工延長	供用日数
	施工延長	供用日数	施工延長	供用日数	施工延長	供用日数	(m)	(日)
軽量鋼矢板Ⅱ型 $\varnothing=1.5\text{m}$								
軽量鋼矢板Ⅱ型 $\varnothing=2.0\text{m}$								
軽量鋼矢板Ⅱ型 $\varnothing=2.5\text{m}$	1.0	8.0	2.7	8.0			3.7	16.0
軽量鋼矢板Ⅱ型 $\varnothing=3.0\text{m}$			17.9	13.0			17.9	13.0
軽量鋼矢板Ⅱ型 $\varnothing=3.5\text{m}$								
軽量鋼矢板Ⅱ型 $\varnothing=4.0\text{m}$								
合計	1.0	8.0	20.6	21.0			21.6	29.0

2. 軽量鋼矢板数量及び損料計算

使用鋼材名	土留延長 A(m)	搬入数量・重量				損料計算			修理損耗費				計 (円)
		搬入数量	搬入枚数	単位重量	搬入重量	供用日数	単価	損料	転用回数	転用補正	単価	金額	
		B(m)	(枚)	(t/m)	(t)	(日)	(円)	(円)	n=A/B(回)	(n+1)/2	(円)	(円)	
軽量鋼矢板Ⅱ型 $\varnothing=1.5\text{m}$													
軽量鋼矢板Ⅱ型 $\varnothing=2.0\text{m}$													
軽量鋼矢板Ⅱ型 $\varnothing=2.5\text{m}$	3.7	3.7	22	0.0179	0.985	16.0							
軽量鋼矢板Ⅱ型 $\varnothing=3.0\text{m}$	17.9	17.9	108	0.0179	5.800	13.0							
軽量鋼矢板Ⅱ型 $\varnothing=3.5\text{m}$													
軽量鋼矢板Ⅱ型 $\varnothing=4.0\text{m}$													
合計	21.6				6.785								

3. 軽量金属支保工数量及び損料計算

使用鋼材名	土留延長 A(m)	搬入数量・重量				損料計算			修理損耗費		計 (円)
		搬入数量	搬入枚数	単位重量	搬入重量	供用日数	単価	損料	単価	金額	
		B(m)	(組)	(t/組)	(t)	(日)	(円)	(円)	(円)	(円)	
軽量金属支保工(1段 75mm)	1.0	1.0		2段 75mmに含む		8.0					
軽量金属支保工(2段 75mm)	20.6	20.6	21	0.0378	0.794	21.0					
軽量金属支保工(2段 110mm)											
水圧ポンプ			1			29.0					
合計	21.6				0.794						

重量合計
7.579

損料合計

舗装工

種 別	算 式 ・ 小 計	数 量
・舗装仮復旧工 既設舗装版 取壊し	・舗装版切断工(CAD求積より) アスファルト $t \leq 15\text{cm}$ ($t=5\text{cm}$) $4.20+2.03+3.14+0.36+0.87+3.81+3.69+0.48+4.80+3.55+0.48+3.14+2.16+$ $0.47+1.62+1.93+5.20+0.35+0.02+1.65+0.02+0.35+0.17+0.45+0.27+0.08+$ $4.03+3.20+0.23+0.33+0.36+3.35$ $=$ 56.79 ・舗装版切断工(既設到達立坑) $4.00 + 7.00 \times 2 = 18.00$ ・舗装版切断工(発進立坑) $3.60 + 0.50 \times 2 + 8.80 \times 2 = 22.20$ ・既設到達立坑・発進立坑控除 $4.00+3.60+0.50 \times 2 = 8.00$ 計 $= 88.99$ ・舗装版破碎工(CAD求積よりA=91.52m²) As舗装版直接掘削積込工 $= 91.52$ $91.52 \times 0.05 = 4.58$ ・舗装版破碎工(既設到達立坑) As舗装版直接掘削積込工 $4.00 \times 7.00 = 28.00$ $28.00 \times 0.05 = 1.40$ ・舗装版破碎工(発進立坑) As舗装版直接掘削積込工 $(3.6 + 0.50 \times 2) \times 8.80 = 40.48$ $40.48 \times 0.05 = 2.02$ 91.52 + 28.00 + 40.48 $= 160.00$ ・As殻運搬処理工 4.58 + 1.40 + 2.02 $= 8.0$ 8.0 $\times 2.35 = 18.80$	89.0 m 160.0 m² 8.0 m³ 18.8 t
舗装仮復旧	・下層路盤工 アスファルト再生クラッシャーラン $\phi 40 \sim 0\text{mm}$ $t=12.0\text{cm}$ 管路部 $= 160.00$ ・上層路盤工 粒度調整碎石 $\phi 40 \sim 0\text{mm}$ $t=12.0\text{cm}$ 管路部 $= 160.00$ ・表層工 ⑤密粒度アスコン(新20FH) $t=5.0\text{cm}$ $= 160.00$	160.0 m² 160.0 m² 160.0 m²

舗装工

種 別	算 式 ・ 小 計	数 量
区画線	・停止線 溶融式 3.0 + 3.0 = 6.0	6.0 m
	・外側線 ペイント式 5.98 + 2.64 + 13.92 = 22.54	22.5 m

212
 A=49.83㎡

205
 A=41.69㎡

■ 舗装版破碎 (CAD求積) A=91.52m2

既設雨水管撤去工

種 別	算 式 ・ 小 計	数 量
1.構造物撤去工	雨水管撤去工 撤去平面図より HP φ900mm 延長 2.50 +10.00 +8.40 = 20.90 ヒューム管 コンクリート取り壊し処分(有筋) 0.23 × 20.90 = 4.81 管基礎 コンクリート取り壊し処分(無筋) 0.55 × 20.90 = 11.50 3号人孔 コンクリート取り壊し処分(有筋) = 2.0 0.81 × 2 = 1.62 鉄蓋 = 2.0 取り付け管① 有筋 ヒューム管 コンクリート取り壊し処分(有筋) 撤去延長 ($0.47^2 \times \pi / 4$ - $0.40^2 \times \pi / 4$) × 3.30 = 0.16 取り付け管② 有筋 500 × 630 × 600 【外寸】 (0.60 + 0.65) / 2 × 0.73 × 4.80 = 2.19 【内寸】 (0.55 + 0.60) / 2 × 0.63 × 4.80 = 1.74 【外寸】-【内寸】 = 0.45 取り付け管③ 有筋 ヒューム管 コンクリート取り壊し処分(有筋) 撤去延長 ($0.47^2 \times \pi / 4$ - $0.40^2 \times \pi / 4$) × 2.10 = 0.10 ■構造物とりこわし・運搬・処分【有筋】 4.81 + 1.62 + 0.16 + 0.45 + 0.10 = 7.14 ■構造物とりこわし・運搬・処分【無筋】 11.50 = 11.50	20.9 m 2 箇所 2 枚 7.1 m³ 11.5 m³

既設雨水管接続工

種 別	算 式 ・ 小 計	数 量
1.雨水管接続工	・雨水管接続工 既設雨水管接続図より 高密度ポリエチレン管 ダブル管、φ 600 = 7.80	7.8 m
	型枠 0.50 × 1.40 × 2 = 1.40	
	1.30 × 1.40 × 2 = 3.64	
	高密度ポリエチレン管 ダブル管、φ 600 $\pi \times (0.707/2)^2$ = ▲0.39	
	HP φ 900mm 0.23 = ▲0.23	
	計 = 4.42	4.4 m2
	巻き立てコンクリート	
	0.50 × 1.40 × 1.30 = 0.91	
	高密度ポリエチレン管 ダブル管、φ 600 $\pi \times (0.707/2)^2 \times 0.25$ = ▲0.10	
	HP φ 900mm 0.23 × 0.25 = ▲0.06	
	計 = 0.75	0.8 m3
	大型土のう(製作・設置) 1.0m3/袋 = 6.0	6 袋
	大型土のう(撤去) 1.0m3/袋 = 2.0	2 袋
	大型土のう (既設雨水管接続用に残置) 6.0 - 2.0 = 4.0	4 袋
	既設大型土のう(撤去) 1.0m3/袋 = 4.0	4 袋
	敷き鉄板 (1.524m × 3.048m × 0.022m) 転用品 = 2.0	
	1.524 × 3.048 × 2 = 9.29	9.3 m2

数 量 計 算 書

名 称	計 算 式	数 量
○試掘工		
1. その他市道	212路線 1箇所	
2. 1・2級市道	205路線 1箇所	
		2箇所 (4.0 m)

名 称	算 式	数 量
試 掘 工 (その他市道・1・2級市道)		
10m当たり		
舗装版切断工	$10.0\text{m} \times 2$	= 20.0 m
舗装版破碎工	$1.00\text{m} \times 10.0\text{m}$	= 10.0 m ²
As 殻処理	$10.0\text{m}^2 \times 0.05\text{m}$	= 0.5 m ³
機 械 掘 削	$(0.90\text{m} + 1.00\text{m}) \times 1/2 \times 0.45\text{m} \times 10.0\text{m}$	= 4.3 m ³
人 力 掘 削	$(0.70\text{m} + 0.90\text{m}) \times 1/2 \times 1.00\text{m} \times 10.0\text{m}$	= 8.0 m ³
機 械 埋 戻	$(0.70\text{m} + 0.95\text{m}) \times 1/2 \times 1.21\text{m} \times 10.0\text{m}$	= 10.0 m ³
舗 装 復 旧	下層路盤工 [ARC40 t=12cm] $0.95\text{m} \times 10.0\text{m}$	= 9.5 m ²
	上層路盤工 [粒調M40 t=12cm] $1.00\text{m} \times 10.0\text{m}$	= 10.0 m ²
	上層路盤工 [①瀝安(25) t=—cm] $1.00\text{m} \times 10.0\text{m}$	= — m ²
	基層工 [②粗粒度As(20) t=—cm] $1.00\text{m} \times 10.0\text{m}$	= — m ²
	表層工 [⑤密粒度As(新20FH) t=5cm] $1.00\text{m} \times 10.0\text{m}$	= 10.0 m ²

工種別作業日数計算書

工種	種別	細別	標準日当り作業量	設計数量	作業日数	鋼矢板	H鋼	軽量 鋼矢板 掘削深 ≦2.0m L=2.5m	軽量 鋼矢板 掘削深 ≦2.5m L=2.5m	軽量 鋼矢板 掘削深 ≦2.5m L=3.0m	覆工板	誘導員	水替え (污水開削)	水替え (雨水開削) (既設雨水管)	備考
土工															
	床掘	土砂、標準、切梁腹起式	障害無し	160 m3		○	○					○			
	床掘	土砂、標準、切梁腹起式	障害有り	230 m3		○	○					○		○	
	埋戻し	最大埋戻幅1m以上4m未満		220 m3		○	○					○		○	
管布設工															
	基面整正	(B)1600mm×(H)1500mm (B)1500mm×(H)1400mm		41 m2		○	○				○	○		○	
	ボックスカルバート掘付工	(B)1600mm×(H)1500mm		14 m		○	○				○	○		○	
	ボックスカルバート掘付工	(B)1500mm×(H)1400mm		6 m		○	○				○	○		○	
	基礎碎石			41 m2		○	○				○	○		○	
	型枠	鉄筋・無筋構造物		6 m2		○	○				○	○		○	
	基礎コンクリート	無筋・鉄筋構造物・小型構造物	バックホ打設	6 m3		○	○				○	○		○	
	コンクリート養生					○	○				○	○		○	
特殊マンホール工															
	基面整正			8 m2		○	○				○	○		○	
	基礎碎石			8 m2		○	○				○	○		○	
	型枠	鉄筋・無筋構造物		2 m2		○	○				○	○		○	
	基礎コンクリート	無筋・鉄筋構造物・小型構造物	バックホ打設	1 m3		○	○				○	○		○	
	コンクリート養生					○	○				○	○		○	
	ブロック掘付工	2200B 基礎ブロックB		1 箇所		○	○				○	○		○	
	ブロック掘付工	2200B 基礎ブロックMB12		1 箇所		○	○				○	○		○	
	ブロック掘付工	2200B 頂版S-900穴		1 箇所		○	○				○	○		○	
	マンホール設置工	組立式1号		1 箇所		○	○				○	○		○	
土留工															
	鋼矢板圧入	Nmax≦25 III型 圧入長9.0m以下		117 枚		○						○			
	切梁・腹起し設置			10.1t		○					○	○			
	切梁・腹起し撤去			10.1t		○					○	○			
	鋼矢板引抜	III型 引抜長9.0m以下		55 枚		○						○			
	充填管設置	YT-3C		6 本		○						○			
	引抜同時充填工	引抜長7.5m		55 枚		○						○			
	ガス切断	鋼矢板III型		50 箇所		○						○			
	油圧式杭圧入引抜機掘付・解体	圧入 Nmax≦25		5.0 回		○	○					○			
	油圧式杭圧入引抜機掘付・解体	引抜		3.0 回		○	○					○			
	先行掘削	φ450 L=6.5m リーダレスオーガ		6 箇所			○					○			
	H形鋼圧入	Nmax≦7 圧入長9.0m以下		6 本			○					○			
	H形鋼引抜	Nmax≦7 圧入長9.0m以下		4 本			○					○			
	横矢板設置	欠損部①、②、③		25m2			○					○			
	横矢板撤去	欠損部①、②、③		25m2			○					○			
	ガス切断	H形鋼		2 箇所			○					○			
	充填管設置	YT-3B		4 本		○	○					○			
	引抜同時充填工	引抜長7.5m		4 本		○	○					○			
覆工板															
	設置	開削部		62 m2		○	○				○	○			
	撤去	開削部		62 m2		○	○				○	○			
	設置	既設到達立坑		28 m2		○	○				○	○			
	撤去	既設到達立坑		28 m2		○	○				○	○			
薬液注入工															
	①二重管スレーブ工法(複相)			6本		○	○					○			
	②二重管スレーブ工法(複相)			7本		○	○					○			
	③二重管スレーブ工法(複相)			5本		○	○					○			
取付管設置工															
	床掘	掘削深≦2.0m	取付管③	3 m3				○				○		○	
	床掘	掘削深≦2.5m	取付管①	8 m3					○			○		○	
	床掘	掘削深≦2.5m	取付管②	17 m3						○		○		○	
	埋戻し	掘削深≦2.0m	取付管③	2 m3				○				○		○	
	埋戻し	掘削深≦2.5m	取付管①	6 m3					○			○		○	
	埋戻し	掘削深≦2.5m	取付管②	12 m3						○		○		○	
	軽量鋼矢板設置工	掘削深≦2.0m 0.2BH	取付管③	1.0 m				○				○			
	軽量鋼矢板設置工	掘削深≦2.5m 0.2BH	取付管①	2.7 m					○			○			
	軽量鋼矢板設置工	掘削深≦2.5m 0.2BH	取付管②	4.2 m						○		○			
	軽量鋼矢板撤去工	掘削深≦2.0m 0.2BH	取付管③	1.0 m				○				○			
	軽量鋼矢板撤去工	掘削深≦2.5m 0.2BH	取付管①	2.7 m					○			○			
	軽量鋼矢板撤去工	掘削深≦2.5m 0.2BH	取付管②	4.2 m						○		○			
	支保工設置工	1段 設置	取付管③	1.0 m				○				○			
	支保工設置工	2段 設置	取付管①	2.7 m					○			○			
	支保工設置工	2段 設置	取付管②	4.2 m						○		○			
	支保工撤去工	1段 撤去	取付管③	1.0 m				○				○			
	支保工撤去工	2段 撤去	取付管①	2.7 m					○			○			
	支保工撤去工	2段 撤去	取付管②	4.2 m						○		○			
	取付管①			3 m					○			○		○	
	取付管②			5 m						○		○		○	
	取付管③			2 m				○				○		○	
	基礎碎石	掘削深≦2.0m	取付管③	1 m2				○				○		○	
	基礎碎石	掘削深≦2.5m	取付管①	3 m2					○			○		○	
	基礎碎石	掘削深≦2.5m	取付管②	5 m2						○		○		○	

工種別作業日数計算書

工種	種別	細別	標準日当り作業量	設計数量	作業日数	鋼矢板	H鋼	軽量 鋼矢板 掘削深 ≦2.0m L=2.5m	軽量 鋼矢板 掘削深 ≦2.5m L=2.5m	軽量 鋼矢板 掘削深 ≦2.5m L=3.0m	覆工板	誘導員	水替え (汚水開削)	水替え (雨水開削) (既設雨水管)	備考
型枠	鉄筋・無筋構造物	掘削深≦2.0m	取付管③	1 m2				○				○		○	
型枠	鉄筋・無筋構造物	掘削深≦2.5m	取付管①	2 m2					○			○		○	
型枠	鉄筋・無筋構造物	掘削深≦2.5m	取付管②	3 m2						○		○		○	
基礎コンクリート	無筋・鉄筋構造物・小型構造物	バックホウ打設 掘削深≦2.0m	取付管③	0.2 m3				○				○		○	
基礎コンクリート	無筋・鉄筋構造物・小型構造物	バックホウ打設 掘削深≦2.5m	取付管①	0.5 m3					○			○		○	
基礎コンクリート	無筋・鉄筋構造物・小型構造物	バックホウ打設 掘削深≦2.5m	取付管②	0.9 m3						○		○		○	
コンクリート養生								○	○	○		○		○	
管渠工															
舗装版切断	アスファルト舗装版	15cm以下		27 m								○			
舗装版破砕積込	As	電線共同溝		21m2								○			
床掘				50 m3						○		○	○		
埋戻し				10 m3						○		○	○		
硬質塩化ビニル管設置工				13 m						○		○	○		
硬質塩化ビニル管撤去工				11 m						○		○	○		
基礎工				1 m3						○		○	○		
砕石基礎				10 m2						○		○	○		
軽量鋼矢板設置工	掘削深≦2.5m	0.2BH		14 m						○		○			
軽量鋼矢板撤去工	掘削深≦2.5m	0.2BH		14 m						○		○			
支保工設置工	2段			14 m						○		○			
支保工撤去工	2段			14 m						○		○			
付帯工															
舗装版切断	アスファルト舗装版	15cm以下		89 m								○			
舗装版破砕積込	騒音対策必要			160m2								○			
下層路盤工	車道	t=120		160m2								○			
上層路盤工	車道	t=120		160m2								○			
表層工	車道	3.0m超 70mm以下		160m2								○			
区画線設置	溶融式・手動	セグラ 30cm 供用区間		6 m								○			
区画線設置	ベント式溶剤型	実線 15cm 供用区間		23 m								○			
構造物とりこわし	鉄筋構造物	機械施工		6 m3		○	○					○		○	
構造物とりこわし	鉄筋	機械施工	掘削深≦2.0m	取付管③	0.1 m3			○				○		○	
構造物とりこわし	鉄筋	機械施工	掘削深≦2.5m	取付管①	0.2 m3				○			○		○	
構造物とりこわし	鉄筋	機械施工	掘削深≦2.5m	取付管②	0.5 m3					○		○		○	
構造物とりこわし	無筋	機械施工		12 m3		○	○					○		○	
仮設工															
既設雨水管															
高密度ポリエチレン管撤去・設置	φ600	世話役数100/0.82		8 m		○						○		○	
大型土のう設置	制作・設置			6 袋		○						○		○	
大型土のう設置	撤去			6 袋		○						○		○	
敷鉄板設置				9 m2		○						○		○	
敷鉄板撤去				9 m2		○						○		○	
巻き立てCo型枠				4 m2		○						○		○	
巻き立てCo	無筋構造物	バックホウ打設		1 m3		○						○		○	
試掘工															
舗装版切断工(As)	t≦15cm			8 m								○			
舗装版破砕積込	小規模土工			4 m2								○			
床掘	小規模			2 m3								○			
床掘	現場制約あり			3 m3								○			
埋戻し	小規模			4 m3								○			
下層路盤工	小型BH+振動ロー			4 m2								○			
上層路盤工	小型BH+振動ロー			4 m2								○			
表層工(t≦5cm)	人力施工			4 m2								○			
												2人配置			
	計上日数					76 日	62 日	8 日	8 日	13 日	38 日	135.0 日	2 日	33 日	
											1.3 月				

上越市ガス水道局

部材名	寸法	単位	長さ	単位質量	備考
腹起し	H-300×300×10×15孔			100.0kg/m	
①		m	12.330		
②		m	7.750		
③		m	3.780		
④		m	2.200		
⑤		m	4.427		
⑥		m	4.677		
⑦		m	6.145		
⑧		m	13.160		
切梁	H-300×300×10×15孔			100.0kg/m	
⑨		m	2.750		
⑩		m	2.750		
⑪		m	2.750		
⑫		m	2.750		
⑬		m	2.839		
⑭		m	3.205		
⑮		m	3.571		
⑯		m	3.007		
⑰		m	2.200		

